

平成25年度 認定こども園つばさ 自己評価まとめ

■園の理念

- ・楽しく学び自ら伸びる子ども
- ・子どもと共に喜び共に育つ園

■平成25年度年間目標

- 常に前に進む仕組みをつくる
- ・記録、マニュアル化により後戻りしない仕組み
- ・当たり前を確実に（縦横コミュニケーション）

■自己評価（10：充分なされている～0：全くできていない）

※自分の職責に該当しない項目は空欄にしておくこと。

項目	内容	平均点 10点中	理由・特記事項
教育課程・指導	園の教育・保育目標の理解と実践	68	<ul style="list-style-type: none"> ・園の理念や年間目標の理解が浅かった。 ・他のクラスの進度や内容を確認すべきだった。 ・自ら調べて研究する姿勢に欠けていた。 ・職員間の雰囲気は良いが、連絡不足が目立った。ライン連絡はよかった。 ・取組等に新しい内容を入れることができなかった。 ・特にバスでの連絡ミスが多い。 ・研修が役に立った。 ・取組の幅が広く、どこに重点をおくべきか迷った。 ・行事準備を優先して取組が不十分だった。 ・マニュアル化が進んでおらず、常に前に進める仕組みができていないので今後も取り組む。 ・職員間でカバーしてうまくいった。 ・ホウレンソウの強化が必要。
	年間目標理解と実践	59	
	園児の個々に応じた適切な対応	74	
	運動会・発表会等各種行事への準備・内容	72	
	職員間のチームワーク、連絡体制	71	
	取り組み内容への工夫	65	
	研修等、自己研鑽へのとりくみ	63	
環境・安全管理	園庭・遊具の安全確保	64	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度よりはよかったが、まだ自主的な行動が足りない。 ・子供のおもちゃの扱いに指導が必要。 ・水田Tのおかげでこれまでよりも幼稚園がきれいになった。（多数） ・子供の怪我の時の対応が不足していた。 ・クラスの遊具点検が不足していた。 ・もっと見回りをして遊具点検を行う。 ・特に怪我の際の連絡に気を付けた。 ・救急箱の整理整頓。 ・緊急マニュアルに沿った対応はできていた。 ・部屋の整理整頓が必要。 ・積極的に草取り等整理整頓をする。
	事故等緊急時の対応	71	
	園舎の整理整頓	64	
保護者との連携	保護者とのコミュニケーション	74	<ul style="list-style-type: none"> ・休みの時の連絡がうまくいっていなかった。 ・保護者とのコミュニケーションはうまくいった。 ・保護者アンケートで公定意見があったのでよかった。 ・当番に入ると、ゆっくり話ができないことがあった。 ・園便り、クラス便りにまだ多くの改善の余地がある。 ・文書だけでなく、できるだけ直接話をするようにした。
	園便り・クラス便り（内容や配布頻度、時期）	73	
	意見や苦情に対する対応	66	
その他	子育て支援つばさの活動全般について	71	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援が園の活動と運動していない部分があった。 ・クラスでの給食でうまく分配できないことがあった。 ・言葉遣いに気を付けた。 ・電話対応の引き継ぎが不十分だった。 ・小学校や、他団体との地域交流が不十分。山田保育園との交流ができるとよかった。 ・当然だが笑顔であいさつをする。 ・もう少し楽しくなるようなわくわくするメニューがあればよい。 ・電話口で少し早口になってしまった。
	給食内容の充実	71	
	地域への情報発信や交流・連携	59	
	挨拶・電話対応等外部への対応	72	

■H25年度の反省をもとに、H26年度に重点的に取り組むこと（自由記述）

- ・子供一人ひとりとのコミュニケーションが十分取れなかった。
- ・目につく子に手間を取られ、おとなしい子への関わりが不足していた。
- ・自己研鑽を続けていきたい。健康管理、ピアノ練習、読書、パソコン練習。
- ・横割りに変わるので、その学年に沿ったクラス活動をやっていく。
- ・勉強して、さまざまな週活動をやっていく。事前の準備も。
- ・提出物が期限ぎりぎりになっていたので気を付ける。余裕をもって準備などをしていく。
- ・迷惑をかけない、失敗を減らし思いやり、感謝を忘れない。病気に気を付ける。
- ・保育内容の変化を理解し、一人ひとりの園児のことを考えた良い保育をしていく。
- ・保護者とのコミュニケーションをとり、いろいろな意見に耳を傾ける。
- ・ホウレンソウをしっかりと、園舎間の共通理解を深めたい。
- ・手作りの食事の良さを伝え、子どもたちにも体験をさせたい。

■まとめ

H24年度は連絡ミスや準備忘れ等、前にできていた当たり前のことができていない状態であった。そこでH25年度は、「常に前に進む仕組みをつくる」という年間目標のもと、マニュアル化や職員間連絡の強化を行った。結果として、前年度よりは向上し、自己反省や保護者アンケートでも一部改善されたという報告があったが、今だに連絡等のミスが目立ち、文書化も進んでいない。H26年度より、カリキュラムも変わるの、文書化、研修を進め、今後も引き続き課題として取り組んでいく。地域との交流も体験学習の中に取り込んでいく。また、年間目標が浸透していない面があったので、中間フォローを入れていく。